

2-1

自然環境の保護と  
環境意識の醸成



## 目次

川と水を守る運動推進事業.....	1
下排水路清掃事業.....	3
地球温暖化防止事業 .....	5
浄化槽設置整備事業 .....	7
環境フェスタ事業.....	9
筑後市環境基本計画（地球温暖化防止対策実行計画含む）策定事業 ..	11
筑後市太陽光発電設置促進事業.....	13
汚泥収集用地購入事業.....	15

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 293 事務事業名 川と水を守る運動推進事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり

施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にしている行動が定着化している。

基本事業 河川等の環境保全

根拠法令・要綱等	筑後市川と水を守る運動推進連絡協議会規約	作成日	平成25年 7月10日
		事業開始	昭和55年度
		事業終了	

必要度合 不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

・クリーン作戦(かんきょう課)・矢部川美化「ノーポイ運動」・下排水路等清掃事業

事業立案のねらい (何・誰をどのような状態にしたいのか)

この運動をひとつの契機とし、水環境の改善、自然環境保全が如何に「ひと・命・暮らし」に密接に絡んでいるかを理解させる。さらに、環境保護活動をひとり一人が出来ることから始め、また、その行動の輪を、団体・事業者等も巻き込んで深化させる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民		行政区長会他団体多数

実施内容 (年度別に異なる場合は分かるように)

毎年5月、第2・3日曜日を基準日(第4を予備日)とし、各行政区でいずれかの日に地元住宅周りの河川、クリーク、水路及び側溝などを住民総出で一斉清掃する。燃やすごみ・燃えないごみは、市が決めた方法で処分し、泥土については、市で処理をするか、もしくは地元で処理をする。

成果指標名①	単位
参加者数	人

計算式 全行政区から提出される「川と水を守る運動実施状況報告」参加者状況の積み上げ

成果指標名②	単位

計算式

成果指標名③	単位

計算式

成果指標名④	単位

計算式

活動指標名①	単位
泥土搬入量	m <sup>3</sup>

活動指標名②

泥土固化搬出量

活動指標名③

活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
年度別計画	計画	「川と水を守る運動」実施	「川と水を守る運動」実施	「川と水を守る運動」実施	「川と水を守る運動」実施	「川と水を守る運動」実施	「川と水を守る運動」実施	
	実績	「川と水を守る運動」実施	「川と水を守る運動」実施					
ア	予算額・決算額	千円	6,748	6,609	6,843	6,843	6,843	6,843
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		6,748	6,609	6,843	6,843	6,843	6,843
イ	従事者数(正規)	人	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	12,397	12,258	12,492	12,492	12,492	6,843
ク	成果指標①	人	12,415.00	12,653.00	12,500.00	13,000.00	13,000.00	13,000.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	m <sup>3</sup>	469.00	407.25	400.00	410.00	410.00	410.00
	②	m <sup>3</sup>	325.00	319.00	320.00	320.00	320.00	320.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	14.3	16.2	17.1	16.6	16.6	16.6

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 293 事務事業名 川と水を守る運動推進事業

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	参加者の高齢化が年々進み、側溝清掃が困難になっており、行政への重機導入要請が高まっている。また、泥土処理については、処理用地を購入確保し、H25より処理のみ委託を行なっている。
--------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

## 4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	平成25年で34回目となり、住民にもかなり定着し、地域全体に浸透している。この運動は環境保全に対する意識向上と、豊かな水資源を次世代に引き継いでもらうという点からも、これから実施していく必要がある。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	筑後市の環境は、市民自ら守っていくことを考えれば、市民との協働で運動を実施することは妥当である。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	小
	運動の実施時期は、梅雨前の5月に実施するという点で非常に適切であり、また行政区内の協働作業という面を捉えた場合、市民相互の協調性を図るという意味で有効な運動であると思われる。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	コスト削減余地	無
	泥土処理のコスト削減は困難な状況です。（地元処理ができないか調査余地あり。）なお、高齢化が進み側溝の蓋あげに苦慮してありますし、人力のみで作業困難な場所においては、機械導入などの検討を行い、作業効率の向上を図る必要があります。若手の参加が少ないとの意見もあることから若手ボランティアの募集や育成など、意識向上も必要と考えます。		

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下川 正弘</span>	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <u>お問い合わせ先：環境部環境管理課（TEL：0944-22-4111）</u> <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 _____ ウ 今後の具体的な対応策、実施案 運動によって排出される泥土の処理量が増加している。25年度から泥土処理用地を取得したが、今後も適正処理に必要な事業費の確保は不可欠である。
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>							

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 297 事務事業名 下排水路清掃事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり  
 施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
 自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にする行動が定着化している。

基本事業 河川等の環境保全

根拠法令・要綱等	筑後市下排水路等清掃及びしゅんせつ事業補助に関する規程	作成日	平成25年 7月 9日
		事業開始	
		事業終了	

必要度合 **市民の社会生活上、必要最小限の保障**

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

**川と水を守る運動**

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

**地域の下排水路清掃の促進を図り、地域住民の下排水路の環境美化に対する意識を上げる。**

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	下排水路の受益地住民		環境衛生協議会、行政区

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

行政区又は地区環境衛生支部が、当該地区内の下排水路等の清掃及びしゅんせつを行う場合、その経費の一部を補助する。清掃：清掃面積300㎡までは1件につき5,000円+1㎡当たり40円、清掃面積300㎡以上は1件につき8,000円+1㎡当たり40円、しゅんせつ：暗渠水路で長さが5m以上流水断面が0.07㎡以上のものは経費の50%、有蓋水路で長さが5m以上流水断面が0.25㎡以上のものは経費の30%、開水路で流水断面が0.5㎡以上で人力による作業が困難と認められるものは経費の20%。

成果指標名①	単位
全行政区に占める下排水路等の清掃実施した行政区の割合	%
計算式	下排水路清掃を実施した行政区数/全行政区数 (76) × 100
成果指標名②	単位
計算式	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
補助件数	回
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	補助事業実施							
	13行政区が実施 補助総額49,940円	13行政区が実施 補助総額40,580円						
実績	補助事業実施							
	13行政区が実施 補助総額49,940円	13行政区が実施 補助総額40,580円						
ア	予算額・決算額	千円	449	403	400	400	400	400
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		449	403	400	400	400	400
イ	従事者数(正規)	人	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	2,376	2,330	2,327	2,327	400	400
ク	成果指標①	%	17.10	17.10	100.00	100.00	100.00	100.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	0.00	0.00	15.00	15.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	26.6	26.6	0.0	0.0



# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 302 事務事業名 地球温暖化防止事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

## 施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり

施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にする行動が定着化している。

基本事業 地球環境にやさしいライフスタイルの実践（もったいない運動の推進）

根拠法令・要綱等	筑後市地域新エネルギービジョン	作成日	平成25年 7月 8日
	筑後市環境保全推進委員会設置要領	事業開始	平成16年度
		事業終了	

必要度合 不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業

## 1. 事務事業の目的、指標等 類似事務事業

環境フェスタ事業  
筑後市太陽光発電設置促進事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

市民の一人ひとり及び全事業者が「温暖化問題」を自分のこととして考え、地球環境の保全・改善に向けた行動を出来ることから始めるようにする。ムダをなくし、効率的に資源を使うことの大切さや、そのための様々な情報を発信して全ての人がこの問題に関心を持ち、スマートライフの実践をしていくようにしていく。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	全市民及び全動植物	ちっこ名店会（協）	エコネットちくご他多数

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

○グループ又は個世帯に対し、電気使用量削減率に応じて、市内商店の商品券等をプレゼントする「CO2CO2（こつこつ）減らそうコンクール」を平成24年度まで実施した。  
○平成25年度より、省エネ生活支援事業として「グリーンカーテンコンテスト」を実施。  
○全国規模の「環境自治体会議」に加入し、先進自治体施策等の情報を活用し、温暖化防止に向けて少ない経費で優れた効果のある施策の実施を検討していく。  
○新エネルギー・省エネルギーに関する補助制度や「地球温暖化防止」行動の重要性を広報誌などを通じて広くPRしていく。  
○事業所としての筑後市役所が行う「筑後市環境保全推進委員会」において、省エネ等の取り組みを行う。

成果指標名①	単位
co2co2減らそうコンクール参加世帯数	世帯
計算式	

成果指標名②	単位
参加全世帯の対前年比での電気量削減率	%
計算式	

成果指標名③	単位
グリーンカーテンコンテスト参加世帯数	世帯
計算式	

成果指標名④	単位
二酸化炭素削減量	t
計算式	16.25kg（グリーンカーテンが1㎡を3ヶ月間覆うことで削減される二酸化炭素量）×参加者設置面積

活動指標名①	単位
報奨金額	円

活動指標名②	単位
PR回数	回

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	・省エネ生活支援事業							
	・CO2CO2（こつこつ）減らそうコンクールの実施 ・環境自治体会議「にはま会議」への参加							
実績	・省エネ生活支援事業							
	・CO2CO2（こつこつ）減らそうコンクールの実施 ・環境自治体会議「にはま会議」への参加							
年度別計画	ア予算額・決算額	千円	422	537	849	849	861	861
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		422	537	849	849	861	861
	イ従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
	エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
	カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	422	537	849	849	861	861
	ク成果指標①	世帯	26.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②	%	18.70	11.30	0.00	0.00	0.00	0.00
	③	世帯	0.00	0.00	40.00	40.00	40.00	40.00
	④	t	0.00	0.00	7.80	7.80	7.80	7.80
	ケ活動指標①	円	134,139.00	96,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②	回	13.00	13.00	13.00	13.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	コ活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 302 事務事業名 地球温暖化防止事業

### 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	九州電力管内の電力供給量について、平成24年夏は、7月から9月において、一昨年比△10%程度の数値目標を設定し、その結果同数値目標程度が推移し、計画停電の回避ができた。今年度夏は生活や経済活動に無理のない範囲での節電の定着による需要抑制を依頼されている。
--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	中
	地球温暖化防止啓発について、引き続き継続して実施する必要がある。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地あり		
	市広報等で広く周知することで公平性をもっている。前年度までの事業を見直し、25年度より事業を変更している。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	24年度までの事業は継続して参加を募ることが難しかったため、25年度より新たな市民参加型事業を展開していく。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか			コスト削減余地
		無	

### 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下川 正弘</span>	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 200px;"></span> <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px;"></span> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況  ウ 今後の具体的な対応策、実施案 CO2CO2減らそうコンクールの参加世帯が減ってきたことから、全市的な省エネ効果への期待をめぐし、節電効果を狙ったグリーンカーテンコンテストを実施することで、事業効果の拡充を図る。
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 <span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px;"></span> 現状維持							



# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 306 事務事業名 浄化槽設置整備事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり  
 施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
 自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にする行動が定着化している。

基本事業 河川等の環境保全

根拠法令・要綱等	筑後市浄化槽設置整備事業補助金要綱	作成日	平成25年 7月18日
	合併処理浄化槽の普及促進（農業地域の生活環境向上）	事業開始	平成 2年度
		事業終了	

必要度合 **不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業**

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

公共下水道事業等の推進  
 （下水道課、水路課）

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

市内に合併処理浄化槽を設置することにより、河川等の水環境の保全を図る。  
 ※合併処理浄化槽・・・生活雑排水（台所・洗濯・風呂等の汚水）及びし尿の中に含まれる有機物（水質汚濁、悪臭の原因）を微生物の力で分解する。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	設置者及び市民		維持管理者、し尿収集業者

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

下水道認可区域以外の区域で、専用住宅に50人槽以下の合併浄化槽を設置した場合、補助する。また、国・県・市がそれぞれ1/3ずつ負担する。

【補助金額】  
 5人槽 332,000円、6～7人槽 414,000円、8～50人槽 548,000円

成果指標名①	単位
市内河川等の水質(BOD)	mg/l
計算式	市内4河川のBOD平均値
成果指標名②	単位
合併浄化槽普及率	%
計算式	現在、下水道との関係で見直し中
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
補助設置基数	基
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	
計画	浄化槽設置補助	150基	160基	120基	140基	140基	140基		
	浄化槽設置補助	145基	117基						
年度別計画	ア予算額・決算額	千円							
	国・県支出金	52,620	43,144	45,556	52,606	52,606	52,606	0	
	その他財源	38,946	29,492	30,286	34,986	34,986	34,986	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0	
	イ従事者数(正規)	人	0.58	0.58	0.58	0.58	0.58	0.00	0.00
	ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
	エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
	カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	56,475	46,999	49,411	56,461	56,461	52,606	0	
ク成果指標①	mg/l	2.13	2.38	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00	
	②	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
ケ活動指標①	基	3,090.00	3,207.00	3,327.00	3,467.00	3,607.00	3,747.00	0.00	
	②	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
コ活動1件当たりコスト	千円	17.0	13.4	13.6	15.1	14.5	14.0	0.0	

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 306 事務事業名 浄化槽設置整備事業

### 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	水環境を取り巻く国の方針は、今まで下水道事業に重点を置いてきたが、近年、短い期間で設置が可能であることから、浄化槽事業にも力を入れ始めている。 平成24年度から下水道事業計画区域が拡大した。
--------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

### 4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	生活排水を原因とする河川等の汚染状況は今だ改善されていない。下水道整備もまだ進んでいないことから、合併処理浄化槽の普及促進は必要とされている。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地あり		
	単独浄化槽からの転換が進んでいない。以前設置した単独浄化槽が老朽化する時期に差し掛かっているため、単独浄化槽からの転換については、賃貸住宅等も補助の対象とするか検討する必要あり。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	河川水質状況によって成果をみているが、水害や水量調節によって数値が変化しやすいため、成果向上が安定しない。また、現在汚水を排水している住居に絞って補助を推進することも有効と考える。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	下水道事業と連携して推進するために、担当部署を一本化することを検討する。 単独浄化槽や汲み取り住居からの転換に絞った促進をする。		

### 5. 総合評価

ア 総合評価

課長 下川 正弘

イ 前回評価後の改善内容

<p>事業（成果）の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <small>社会における状況等については、下流域との連携等であり、単独浄化槽の設置が主たる事業目的となる。</small></p> <p><input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p style="margin-left: 20px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上  <input type="checkbox"/> 成果維持  <input type="checkbox"/> 成果減少         </p> <p style="margin-left: 100px;"> <input type="checkbox"/> 期間変更  <input type="checkbox"/> 手段改善         </p> <p>次年度の投入資源</p> <p>事業費 <u>拡大</u> _____</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">改善案の進捗実施状況</p> <p>昨年度に引き続き、下水道事業との一本化して汚水処理計画を推進していくこと効率的である。単独浄化槽からの転換促進でも、合併処理浄化槽と下水道接続と選択枝があるため、今後共同して推進方法を検討していく必要がある。</p> <p>ウ 今後の具体的な対応策、実施案</p> <p>当面、成果指標である河川水質の改善、汚水処理の更なる適正化を推進するにあたっては、単独浄化槽及びし尿汲み取りからの移行をさらに強化する事業充実が望まれる。 また、汚水処理計画の目標達成にむけ、単独浄化槽から合併処理への積極的更新を推進する必要がある。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 307 事務事業名 環境フェスタ事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり

施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にする行動が定着化している。

基本事業 地球環境にやさしいライフスタイルの実践（もったいない運動の推進）

根拠法令・要綱等	作成日	平成26年 3月20日
	事業開始	平成14年度
	事業終了	

必要度合 民間のサービスを補完・先導する

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

なし

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

様々なイベントを通じて市民が地球規模での環境保護の重要性を理解し、日常生活において地球環境に配慮した行動を実践する。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	全市民（さらには将来の市民）		各種市民団体、事業所

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

ごみ減量化、温暖化防止等環境問題の啓発イベントとして、毎年実施している。企画・運営はエコネットに委託している。主な実施内容は以下のとおり。  
 ・かえっこ（おもちゃリサイクルイベント）の実施  
 ・バイオ燃料展示  
 ・エコ商品の展示・環境保護のためのアイデアの募集・発表  
 ・各団体によるワークショップ  
 ※内容は毎年変更があります。

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	
計画	エコネットに企画・運営委託で「環境フェスタ」を単独開催	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	「環境フェスタ」実施今年度は、健康と福祉の啓発との兼ねではなく、単独で開催し事業を委託しているエコネットちくこの組織力強化につなげる	
	年度別計画	「環境フェスタ」実施。講演会、かえっこ。環境標語、ポスター表彰	「環境フェスタ」実施。講演会、かえっこ。環境標語、ポスター表彰						
実績									
ア	予算額・決算額	千円	531	675	700	1,000	1,000	1,000	1,000
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		531	675	700	1,000	1,000	1,000	1,000
イ	従事者数(正規)	人	0.54	0.54	0.54	0.54	0.54	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	4,120	4,264	4,289	4,589	4,589	1,000	1,000
ク	成果指標①	人	1,200.00	1,000.00	700.00	700.00	700.00	700.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	人	0.00	0.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 307 事務事業名 環境フェスタ事業

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	平成19年より単独開催から「健康と福祉の祭典」（健康づくり課主催）との共催となった。平成22年度は、かんきょう課単独で開催することになった。
--------------------------------------	------------------------------------------------------------------------

## 4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	平成24年度に環境基本計画を策定し、これから本格的に環境問題の取り組みを全市的に推進していく必要がある。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	環境問題は、広くは地球規模、狭い意味でも筑後市全域に係ることである。環境フェスタに受益者負担は馴染まない。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	大
	内容に変化が乏しく、参加者が減っている状態である。幅の広い環境問題の中で毎年テーマ等を変え、狙いを持って事業実施する必要がある。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	環境基本計画を策定し、これから環境問題の取り組みを充実させていくためには、効果を向上させるためには財源の増加は必要である。		

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下川 正弘</span>	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____  <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____  <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-left: 20px;"> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上  <input type="checkbox"/> 成果維持  <input type="checkbox"/> 成果減少                 </div> <div> <input type="checkbox"/> 期間変更  <input type="checkbox"/> 手段改善                 </div> </div>		改善案の進捗実施状況  ウ 今後の具体的な対応策、実施案 環境フェスタ事業については、24年度の環境基本計画策定をうけ、全市民的な環境行動の啓発機会として重要である。 イベント内容の企画立案の6月段階から、市民が参加しやすい事業を組んでいくことを目標に、関係者協議を行い、昨年度の20%増の参加者をめざす。
次年度の投入資源 事業費 <u>拡大</u>		

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 1176 事務事業名 筑後市環境基本計画（地球温暖化防止対策実行計画含む）策定事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり

施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にする行動が定着化している。

基本事業 地球環境にやさしいライフスタイルの実践（もったいない運動の推進）

根拠法令・要綱等	第四次筑後市総合計画	作成日	平成25年 7月17日
	筑後市環境基本条例	事業開始	平成24年度
		事業終了	平成24年度

必要度合 市の魅力を市内外的に情報発信する

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

筑後市環境基本条例

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

環境基本条例を踏まえ、筑後市における環境問題の現状を基本計画に基づき、実行を図る。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</span>		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

筑後市環境基本条例を順守し、コンサル等による市民等の意識調査などの把握を行い、筑後市に適した基本計画を平成25年3月に策定完了。

成果指標名①	単位
計算式	
成果指標名②	単位
計算式	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筑後市環境基本計画（本編）カラー製本</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">部数</span>
活動指標名②	単位
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筑後市環境基本計画（概要版）カラー製本</span>	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">部数</span>
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

23年度決算 24年度決算

計画	年度別計画	実績	23年度決算		24年度決算					
				筑後市環境基本計画策定						
				筑後市環境基本計画を策定し、(本編)300部及び(概要版)20,000部を製本し、市民等に配付。						
ア	予算額・決算額	千円	0	4,261						
	国・県支出金		0	0						
	その他財源		0	0						
	地方債		0	0						
	一般財源		0	4,261						
イ	従事者数(正規)	人	0.00	0.00						
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646						
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00						
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544						
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00						
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	0	4,261						
ク	成果指標①		0.00	0.00						
	②		0.00	0.00						
	③		0.00	0.00						
	④		0.00	0.00						
ケ	活動指標①	部数	0.00	300.00						
	②	部数	0.00	20,000.00						
	③		0.00	0.00						
	④		0.00	0.00						
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	14.2						

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 1176 事務事業名 筑後市環境基本計画（地球温暖化防止対策実行計画含む）策定事業

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

## 4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	大
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span>	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 終期 <u>25年3月、基本計画策定完了に伴い、今後は進捗管理業務を行う必要がある。</u>  <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____  <input type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況  ウ 今後の具体的な対応策、実施案
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 _____							

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 1211 事務事業名 筑後市太陽光発電設置促進事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり

施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

上位施策のねらい  
自然環境保護に関する取り組みや、地球・資源を大切にする行動が定着化している。

基本事業 地球環境にやさしいライフスタイルの実践（もったいない運動の推進）

根拠法令・要綱等	筑後市太陽光発電設置促進事業補助金交付要綱	作成日	平成26年 3月20日
		事業開始	平成24年度
		事業終了	平成26年度

必要度合 不特定の市民にも受益が及ぶ事務事業

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

地球温暖化防止事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

この事業を通じ、市民の環境保全に対する意識向上や実践を目指すとともに、再生可能エネルギーへの転換を図り、当市の地域温暖化対策の一つとする。また、平成24年度より市内事業者等が設置工事等を行うことを条件に加え、地域経済の活性化も図る。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民	住宅設備業者	

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

太陽光発電設備を設置する世帯に、21年度から23年度まで補助を実施した。24年度は、1kwh2.5万円、7.5万円を限度に補助を実施した（23年度と同様の内容）。また、対象について、市内の事業者が設置工事等を行うことを条件に加えた。

成果指標名①	単位
二酸化炭素削減量	t-CO2
計算式	補助対象総発電量*1,923時間/年(平均日照時間)*0.000525(排出係数)

成果指標名②	単位
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
太陽光発電設置世帯数	世帯数
活動指標名②	単位

活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

23年度決算 24年度決算 25年度予算 26年度計画

計画	年度別計画	23年度決算		24年度決算		25年度予算		26年度計画	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
			太陽光発電設備設置補助	太陽光発電設備設置補助					
			太陽光発電設備設置補助 設置補助世帯：54世帯 総発電量：261.71KWh						
ア	予算額・決算額	千円	0	4,019	7,500	7,500			
	国・県支出金		0	0	0	0			
	その他財源		0	0	0	0			
	地方債		0	0	0	0			
	一般財源		0	4,019	7,500	7,500			
イ	従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00			
ウ	年平均給与額	千円	0	6,646	6,646	6,646			
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00			
オ	年平均給与額	千円	0	2,544	2,544	2,544			
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00			
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	0	4,019	7,500	7,500			
ク	成果指標①	t-CO2	0.00	264.22	300.00	300.00			
	②		0.00	0.00	0.00	0.00			
	③		0.00	0.00	0.00	0.00			
	④		0.00	0.00	0.00	0.00			
ケ	活動指標①	世帯数	0.00	54.00	100.00	100.00			
	②		0.00	0.00	0.00	0.00			
	③		0.00	0.00	0.00	0.00			
	④		0.00	0.00	0.00	0.00			
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	74.4	75.0	75.0			

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 1211 事務事業名 筑後市太陽光発電設置促進事業

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

## 4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地あり	上位施策貢献度	中
	市内事業者の活性化を目的として、市内事業者と販売施工契約を結ぶことを補助条件に加えた結果、申請件数は大幅に減少した。 また、平成24年7月から国により電力の全量買取制度が実施される等、新たな制度も開始されています。そのような、再生可能エネルギーを取りまく状況を確認しつつ、制度の見直しを検討していく必要があります。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
	24年度の成果指標（CO2削減量）は、前年度までに比べ減少していますが、補助1世帯あたりの削減量は向上していると言えます。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下川 正弘</span>	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____  <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____  <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 平成24年度より、補助条件に市内事業者と販売施工契約を結ぶことを補助条件に加えた。
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>		ウ 今後の具体的な対応策、実施案 補助金交付の要件に、市内の工事施工（契約）業者による条件を付したため、対象補助件数は大きく減少したが、省エネ・再生可能エネルギー導入に係る市民意識の向上が高まっており、今後の周知、啓発強化及び制度設計の検討が必要である。



平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1233

事務事業名 汚泥収集用地購入事業

部 市民生活部

担当部署 かんきょう課かんきょう係

施策体系

政策 2 資源・環境にやさしいまちづくり

施策 1 自然環境の保護と環境意識の醸成

費用便益結果 なし →数値

根拠法令要綱等

作成日 平成25年 7月11日

事業開始 平成24年度

事業終了 平成24年度

事業開始の経緯

必要度合 市民の社会生活上、必要最小限の保障

基本事業 河川等の環境保全

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果 (整備後、供用後)	毎年「川と水を守る運動」を市全域で行っている。現在の泥土収集用地は、鉱研鉱業株の土地を借用している。その土地を売買されることとなったため、使用用地を購入し、事業に支障がないように用地を購入するものである。
②利害関係者	市民
③成果に影響のある外部要因	
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	用地を購入し、事業に支障がないような整備を行う。
⑤関連事業	

2. 事業の進捗状況

		平成23年度	平成24年度						
① 整備計画	① 測量・鑑定								
	② 購入								
	③								
	④								
	⑤								
② 実績	① 測量・鑑定								
	② 購入								
	③								
	④								
	⑤								

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1233

事務事業名 汚泥収集用地購入事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算						
③予算額・決算額	千円 0	32,056						
国・県支出金	千円 0	0						
その他財源	千円 0	0						
地方債	千円 0	0						
一般財源	千円 0	32,056						
④従事者数(正規)	人 0.00	0.00						
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646						
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00						
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544						
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00						
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	0						
⑩総コスト(③+⑨)	千円 0	32,056						
成果指標①	0.00	0.00						
②	0.00	0.00						
③	0.00	0.00						
④	0.00	0.00						

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	順調である 順調でない場合はその理由を	上位施策への貢献度 大	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか
			余地はない ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 下川 正弘	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性		
<input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 終期 平成25年3月、本件用地取得完了により事業終了。		
<input type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業		ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
<input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/>		
成果維持 <input type="checkbox"/>		
成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>		
次年度の投入資源 事業費		
総事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小		

